

プロローグ（二・一〜一八）

公的活動（二・一九〜二二・五〇）

洗礼者ヨハネの証言、弟子召命、カナの婚礼（最初のしるし 二・一二）、エルサレム上京（過越祭・春）（二・一三）・宮清め、イエスとニコデモ、イエスとサマリヤの女、役人の息子（第二のしるし 四・五四）

エルサレム上京（ユダヤ人の祭）（五・一）・ベトザタの池、御子の権威、イエスについての証、五千人の給食（六・四「過越祭が近づいていた」）、湖上歩行、命のパン、弟子の離反、ペトロの信仰告白

エルサレム上京（仮庵祭・秋）（七・一〇）、下役たちの派遣、生きた水、ユダヤ人指導者たち、（姦淫の女）世の光、真理と自由、神に属する者、「わたしはある」目の不自由な人、「羊の囲い」、良き羊飼

エルサレム上京（神殿奉献記念祭・冬）（二〇・二二）
イエスと父は一つ、ラザロの死、ラザロの復活

殺害計画（二一・四五〜五七）、ベタニアの香油、

エルサレム上京（過越祭・春）（二二・一二）

決別説教と受難（二三・一〜一九・四二）

洗足、裏切りの予告と食事、新しい掟、ペトロの離反予告、父に至る道、聖霊授与の約束、「まことのぶどうの木」、迫害予告、聖霊の働き、世に勝利、イエスの祈り逮捕、ペトロの否認、大祭司の尋問、ピラトの尋問
死刑判決、十字架死、埋葬

復活顕現（二〇・一〜二九）

墓の場面、マグダラのマリア、弟子に顕現

イエスとトマス

結び（二〇・三〇〜三二）

本書の目的

追補（二一・一〜二五）

七人の弟子に顕現、イエスとペトロ、イエスに愛された弟子（二三・二三〜二五、一八・一五、一九・二六、二〇・二）

2年と24時間

1章〜12章 公的活動 → 約2〜3年

13章〜19章 決別説教、受難物語 → 約24時間

20章〜21章 復活顕現